

東京都教育委員会の
通学路における児童・生徒
の安全確保の取組

東京都教育庁地域教育支援部長

秀嶋 善雄

地域ぐるみの安全推進体制整備推進事業

事業開始の契機

平成17年2月、大阪府寝屋川市立中央小学校の教職員殺傷事件

目的

学校や通学路の子供の安全確保を図るため、地域全体で子供の安全を見守る体制を整備すること。

実施主体

区市町村教育委員会

事業の概要

スクールガード・リーダー(学校安全指導員)
による学校の巡回指導と評価等の実施

スクール・ガード(学校安全ボランティア)養
成講習会の実施

子供たちの見守り活動の実施



事業実績

事業を活用している区市町村

平成22年度 19区市

平成23年度 18区市

平成24年度 18区市



事業の実績

スクールガード・リーダーの巡回指導

平成22年度	87名に委嘱	280校を巡回
平成23年度	81名に委嘱	281校を巡回
平成24年度	83名に委嘱	297校へ巡回



事業の実績

スクールカード養成講習会の開催

平成22年度	22回開催	989名参加
平成23年度	24回開催	1,002名参加
平成24年度	23回開催	990名参加



事業の実績

子供たちの見守り活動

平成22年度 18,698名参加

平成23年度 20,103名参加

平成24年度 27,795名参加



取組事例1 (文京区)

2つの区域に分け、所在する小学校を年に1回ずつ
巡回指導

スクールガード連絡会を実施

巡回の結果報告・意見交換

地元警察署による子供を取り巻く事件・

事故の状況報告、区、警察、スクールガード・

リーダー、スクールガードによる意見交換会

スクールガードへ区が作成したベストの貸与

取組事例2 (狛江市)

学校の侵入者対策

地震の際の安全確保についての助言

PTA連合会、
「子どもかけこみ
110番」実行委員
会との連携による
登下校時の犯罪抑
止策を実施



* 写真はイメージです。

事業の成果

専門的視点からの指導により、スクールガードや地域住民の学校安全の意識が向上

教職員の危機管理の知識や防災意識の向上

学校と地域との連携強化

ボランティア組織育成機運の高まり

学校支援ボランティア推進事業

～地域全体で学校教育を支援する仕組みを構築し、地域住民や保護者等がボランティアとして学校教育を支援する取組～

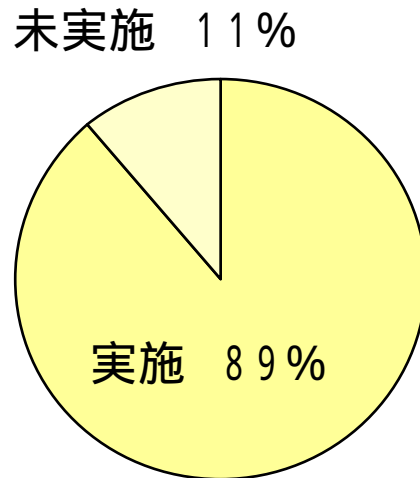
実施主体は区市町村

- ・学校支援ボランティア推進協議会を設置
- ・コーディネーターの配置
- ・学校支援ボランティアにより学習支援、校内の環境整備、登下校時の通学路の見守り等を実施

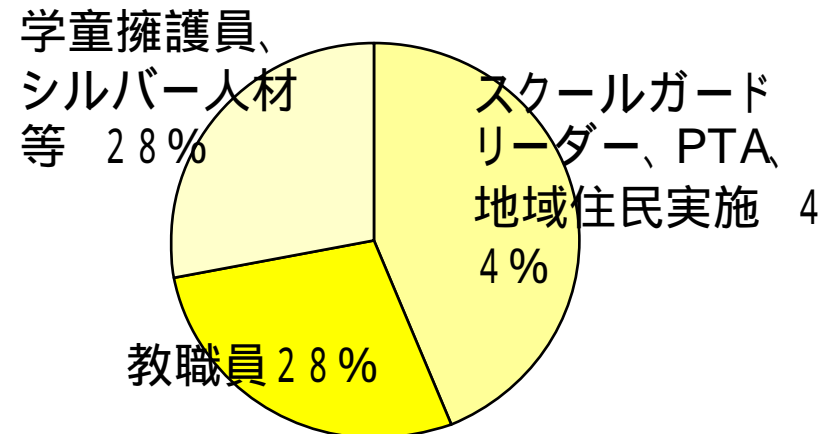
実績 H22 21区市、H23 22区市、H24 21区市

区市町村における 通学路見守りの実施状況 (平成24年地域教育支援部調査)

通学路の見守り活動の実施状況



見守り担当者



おわり

講演を終わります。

御清聴ありがとうございました。